

成功事例で教える自動化設計のノウハウ

自動化設計のための 治具位置決め入門

日時 2022年10月14日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書

10/14 治具位置決め

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.227563

開催主旨

自動化設計は、機構・材料・市販機能部品・油気圧・電気・センサー・プログラム等の多くの分野の要素を組合わせて、目的とするQCD（品質、コスト、納期・生産量）を達成するシステムを作り上げる。組合せにおける着眼点は、全体を整合させる視点で、予定の生産量の範囲で許された時間を最大限に活用して、要求品質を達成できる最適な精度・コストのアクチュエータを選択し、要求品質を達成して最も低いコストでシステムを構成することである。これを実現するために設計者に求められるのは、形として見える機械系の知識、目に見えない電気、プログラム系の知識、その中間の油気圧系の知識と広く身に着けることである。

また、コスト競争力の向上は、最小のコストで最大の成果であり、実現のための着眼点を学ぶことができる。

このセミナーは入社2~3年で得意分野ができつつある人や、社会人1年生又は、異なる業界から自動化の世界に入り、今から技術を身に付けてゆく人を対象と考えています。全体整合の考えを実行するための、関連分野の基礎知識が、幅広く身につくように作られています。是非参加ください。

講師

設計・教育研究所 代表 **河合 優氏**

【略歴】 豊田工業高等専門学校卒業 自動車部品製造会社で自動車部品製造用の専用機、自動化装置の開発の責任者を務めた。機械の計画・設計から完成までの、機械系・制御・プログラム・ロボット活用と、広い分野で豊富な経験がある。定年退職後は、豊田工業高等専門学校の非常勤講師、特命教授として、一気通観エンジニア養成プログラムの立ち上げに参画し、プログラムの基幹部分を作り上げた。名城大学理工学部非常勤講師として、機械設計を6年間指導した。現在は自動車部品のコスト低減に取り組み、専用機の開発を通じて、企業技術者の伴走教育に取り組んでいる。実務家が経験と実績で解説し、若い技術者の成長のお手伝いに努めている。

【著書】	「自動化設計のための治具・位置決め入門」	2014年1月	日刊工業新聞社
	「機械製図CAD作業 技能検定試験突破ガイド」	2015年8月	日刊工業新聞社
	「機械製図CAD作業 実技課題と解説例」	2016年7月	日刊工業新聞社
	「きちんと学ぶレベルアップ機械製図」	2017年8月	日刊工業新聞社
	「機械製図CAD作業 実技課題と解説例 第2版」	2018年7月	日刊工業新聞社
	「しっかりわかる図面の解説と略図の描き方」	2019年2月	日刊工業新聞社

プログラム

1. 基本

- 1-1. ゲージの位置決め構造
- 1-2. 治具の位置決め構造
- 1-3. 適正なクランプ力
- 1-4. QCD

2. アクチュエータ

- 2-1. アクチュエータの特徴
- 2-2. アクチュエータの選定

3. 要素選定

- 3-1. 材料
- 3-2. 空気圧
- 3-3. シーケンス制御
- 3-4. 電気配線・機器選定
- 3-5. 市販されている要素部品
- 3-6. ベアリング選定

4. 実施例

- 4-1. マシニングの活用
- 4-2. Vリブドプリー
- 4-3. ハンドル